

# 大学図書館問題研究会 京都

京都市左京区吉田本町 京都大学教育学部図書室 (竹村心気付)

TEL 075-751-2111 (内3013)

## 図書の収集と選択方法について

堤 豪 範  
(京都大学経済学部図書室)

### ① はじめに

一般的に図書選択の問題は非常にむつかしいと言われている。しかし、今から25年前、竹村熊彦氏が、図書館員は図書が受入されてから利用者の手にわたるまでの機械的な準備だけでも能率の高いエンジニアでなければならぬと述べた上で、分類や目録・管理が完全であろうとも、図書館の価値はその蔵書の選択される方法にかかっていると強く述べている。現在では、図書の選択については、図書館員と利用者の協力のもとになされるべきであり、館員自身が主題分野に関する文献に通じなければならないという事がたえず言われている。しかし、大学図書館という現場の中で、具体的に実践されているところが少ないように思う。

先ほど京都大学職員組合で行われた図書館学校で、図書の選択について学習するのに非常に参考になった竹林熊彦著「図書の選択」<sup>(1)</sup>と長沢雅男著「資料選択要因の考察」<sup>(2)</sup>の中で述べられている事を紹介しながら、収集・選択のために具体的に何から始めるべきなのかを考えていきたい。

### ② 選択の要素

図書選択はなぜやらねばならないのか。これについて長沢雅男著「資料選択要因の考察」

の中で次のように述べている。それは①コレクションの利用価値を高めるために、図書資料の選択が必要であり、②あらゆる学問分野で、知識・技術の急速な開発、社会生活の複雑化に伴って、出版物が量的にすさまじく増え、出版物の洪水の中にあって、すべて買入れることは財源的にもスペースの点でも無理な事であり、何らかの方法で選択をしなければならない。③文献量が比較的限られていた時代ならばともかく、圧倒的に多量の文献が生産されつつある現在では、図書館は単なる資料の収集・受入の問題にとどまらず資料の選択こそ最大の関心をもって取り組む必要がある。

次に、図書選択の秘訣というものは何なのか。ひとことで簡単に言ってしまうと、選択者が図書資料についてよく知っている事であり、深い専門的知識をもっている事であろう。そのためには、まず、図書選択の補助的ツールを充分知らなければならないし、図書そのものについての知識をもたなければならない。図書そのものについてよく知るという事は、口では簡単に言えても、実践の段階では非常にむつかしく、日常不断の努力と、図書館業務を通じての長年の経験、あらゆる機会を利用して、常に研究していこうとする態度が必要であろう。そして、利用者をよく知る

事を忘れてはならない。公共図書館では、読者に対する理解として、図書の選択者は、読書大衆の要求を検討し、価値、分量、種類を評価し、これを図書館の図書資源と対照して、図書の選択を決定しなければならないとされている。これは大学図書館にもあてはまることであり、学生、院生、教員等の大学図書館利用者の要求をよく知る必要がある。

最後に、技術的な問題として、自分の図書館には、どんな種類のどれだけの図書資料を持っているのか、図書費はどれほどあるのか、図書選択に関して、どれだけの助言と協力をしてくれる人がいるのかを充分知らなければならない。とくに大学図書館の場合、図書館員と利用者が共同するために、どのようにそれを組織化してゆくのか等の技術も身につけなければならないと思う。

### ③ 図書の評価法

図書館員が図書資料の評価ができるほどに能力を高めるには、まず、その基本的な方法を知る必要がある、ここで、過去に言われてきた最も基礎的な事からを述べることにする。

図書の評価には、①著者についての評価②出版社についての評価③図書の形態による評価がある。その前に、まず、図書の選択者は書評に注意しなければならない。書評には、①速報的なもの②批判的なもの③専門的なものがある。新刊書紹介などは速報的書評にのせられるし、批判的書評には、書評家による主観や判断が入る。専門的書評は、月刊、季刊で出される専門学術雑誌にのせられる。

次に評価の方法であるが、第1に、著者自身についての知識が必要であり、これは図書選択の指導原理とすることはできないが、選択するときの考慮にいれる要素となる。著者を知る手がかりは、著者についての資料を収集し、研究しなければならない。大学図書館では研究者を知る事になろう。又、編集者の仕事についての知識をもつ事も必要であり、

本を売るためにのみ、有名人の名前をかりただけの編集者であるのか、その編集物に一貫性、統一性が与えられている本当の編集者なのかどうかを区別しなければならないし、編集者がどれだけ責任をとっているかで、図書の評価がちがってくる。第2に出版社についての知識、その特徴、専門を知る必要がある。これは、出版者の様々な出版物に接し、それを観察することによって得られる。経験をつみ重さね、観察能力が発展すると、出版社の名前から図書の価値を予想する事ができると言われている。出版社には、一般図書の出版社と特殊専門図書の出版社があり、大学図書館では外国の出版社についての知識が必要である。第3に、図書の形態による評価であるが、改訂版に対する注意や参考文献、索引があるかどうか、序文やはしがき、目次にも注意してみる必要がある。

### ④ おわりに

図書の収集・選択について、どのようにすればいいのか、毎日の業務の中で、当面、何から手をつけたらいいのかを、竹林、長沢両氏の著書を学習しながらさぐってきた。結論としては両氏が強調しているように、図書館員としてまず、書誌や目録に通じる事であり、図書の選択がいかに大事な仕事であるかという事を自覚し、当面、初歩的な実践として、集団的に自館に必要な専門書誌や目録をよく知り、どのように活用すればいいのかを常に探究するところから始める必要があると思う。

さいごに図書の選択と書店の関係について述べる。書店は、本を売りこむために、研究者の研究内容、その研究者が過去に何を研究してきたか、現在何を研究しているのか、そのテーマは何か、今後どのような研究を行おうとしているのか等を大いに知りたがっている。「日本に於ける西ヨーロッパ社会経済史研究者714名の研究テーマ」についてレポートが出版関係者から出されているが、これを

みても、書店サイドで常にそのような研究を行っていることがわかる。公共図書館で利用者の潜在的な要求を館員がひき出す場合と同じく、大学の図書館員こそが、書店と同様に各研究者の研究内容を知る必要がある。又、書店から出されている販売書誌の中で、たとえば、外国雑誌の解説付リスト<sup>(3)</sup>や、二次文献の解題<sup>(4)</sup>等がでており、我々にとって充分役立つものがある。

「はじめに」のところであらゆるように図書の選択は図書館員と利用者の共同作業ということを示したが、それに、書店の適切な協力も得てはどうだろうか。そして我々図書

館員のもうひとつの当面やらなければならない事として、日常業務の中で、常に販売目録を整理し、よくそれに目を通すという仕事を付け加える必要があると思う。

#### 参考文献

- ① 竹林熊彦 図書の選択 蘭書房 1955
- ② 長沢雅男 資料選択要因の考察 Library Science No.4 1966 p.143-154
- ③ '82 日本総代理店・指定代理店雑誌目録 紀伊国屋書店 1981
- ④ 海外主要二次資料・参考資料解題 1980-1981 丸善 1981

#### 出版書誌についてのリスト

##### ① 書評紙 (誌)

図書新聞, 週刊読書人, 日本読書新聞  
Times literary supplement.  
New York Times book review.  
New York Herald Tribune weekly  
book review. Saturday review.

② 国内市販の新刊書リストをもっているもの  
出版ニュース, Publisher's weekly.  
Bookseller.

##### ③ カレントな全国書誌

日本全国書誌 週刊版 (納本週報改題)  
全日本出版物総目録, 日本書籍総目録  
British national bibliography.  
(英) Deutsche national Bibliographie.  
(独) Bibliographie de la France. (仏) 月刊-American  
book publishing record. British  
books. Biblio.

##### ④ 古書のリスト

日本古書通信, American book-prices  
current. Book auction records.  
Jahrbuch der Auktionspreise  
für Bücher. Handschriften und  
Autographen.

##### ⑤ 主題内容に限定したもの

経済学関係の場合 Johns Hopkins  
Universityの Economic library  
selections. 他に New York Pub-

lic Libraryの New technical  
books.

⑥ 新しさには欠けるがツールとなるもの  
Cumulative Book Index. (通称  
CBI) 英語で出版された図書のリスト  
Books in Print. アメリカの出版物で市  
販されているリスト Subject Guide to  
Books in Print. 主題から探さう  
British Books in Print. (英)  
Verzeichnis lieferbarer Bücher.  
(独) Le Catalogue de l'Édition  
Française. (仏)

##### ⑦ 逐次刊行物を収録しているもの

日本雑誌総覧, 日本新聞雑誌便覧, 日本科  
学技術関係逐次刊行物目録, 日本自然科学雑  
誌総覧 Ulrich's international  
periodicals directory. アメリカ,  
世界で出版されている主要な雑誌を収録  
Irregular serials and annuals;  
an international directory. ウル  
リッヒの姉妹編 年鑑, 議事録, レヴュー  
等 N.W. Ayer and Son's direct-  
ory of newspapers and periodicals.  
(米) Willing's press guide.  
(英) Leitfaden für Presse und  
Werbung. (独)

##### ⑧ パンフレットその他ツール

Bulletin of public affairs in-  
formation service. Vertical  
file index.

⑨政府刊行物目録

政府刊行物月報 (日本)

United States government publications: Monthly catalog. (アメリカ)

Government publications monthly list. (イギリス)

United Nations publications: Catalogue. (国連)

年間月例会企画決まる

第4回支部委員会は8月までの月例会企画を決定しました。

これ以外にも、会員による研究発表も計画しております。多数の参加を希望します。

1月23日 新春合同例会「教育・研究と図書館」杉原四郎先生

2月27日 「大学生と図書館」 石塚栄二先生

3月13日 「80年代の科学技術と学術情報」小沼通二先生

4月 全国研究集会「大学図書館の総合的發展をめざして」 東京

5月10日 「大学図書館のトータルシステム」講師交渉中

6月 「大学教育論」 講師交渉中

7月～8月 集中講義「データベース」

1月例会案内〈新春関西三支部合同例会〉

講演「教育・研究と図書館」

講師 杉原四郎 氏 (甲南大学教授)

日時 1月23日(土) PM 2～5

会場 大阪府立労働センター

(京阪天満橋駅下車 西へ5分)

先生は学生に索引作りを、大学院生には書誌作りを指導され、自らも、御専門の書誌づくりをおこない、大学図書館の発展には強い関心を持っておられます。

例会後、三支部合同懇親会も企画しております。多数の参加を期待します。

